

函館港の全景



函館港へのクルーズ船の寄港動向

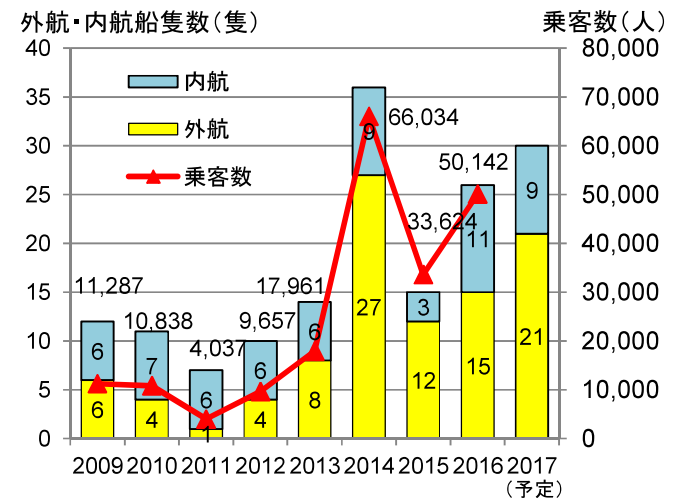
- ◆函館港へのクルーズ船寄港数は急増しており、**2016年は26隻で北海道内1位(全国15位)**となっており、**特に外航クルーズ船の寄港数が増加傾向にあります。** ※2017年も30隻が予定されており北海道内1位となる見込み
- ◆函館市は、**2020年の目標寄港回数を50隻**と設定し、将来的には年間70隻を目指し、国内外のポートセールスを強化しています。
- ◆現在、クルーズ船は函館朝市、ベイエリアなどの観光の中心地から6.5km離れた港町ふ頭を利用していますが、交通アクセスが悪く、景観も悪いため(背後は金属くず堆積ヤード)、市内の滞在時間が減るなど、旅客の消費活動に影響が出ています。
- ◆平成28年度から、観光の中心地に近い若松地区においてクルーズ受入岸壁の整備を進めています。市内の**主要観光地への徒歩20分圏内でのアクセスが可能**となることから、滞在時間の拡大や、観光消費への波及効果が期待できます。



函館港 若松地区 整備概要

- 事業主体：国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部
- 整備施設：函館港 若松地区 岸壁(水深10m)延長360m、泊地(-10m)
- 供用時期：平成30年代前半完成予定(平成28年度着手)
- 総事業費：41億円(岸壁のみ)
- 対象船舶：ダイヤモンド・プリンセス(11万トン級)

函館港のクルーズ船寄港回数の推移



函館港へのクルーズ船寄港状況



若松地区は特急が停車するJR函館駅に隣接（約300m）



若松地区の整備後のイメージ



函館駅周辺からの眺望【整備前】



函館朝市周辺からの眺望【整備前】



函館駅周辺からの眺望【整備後】



函館朝市周辺からの眺望【整備後】

若松地区の工事イメージ

